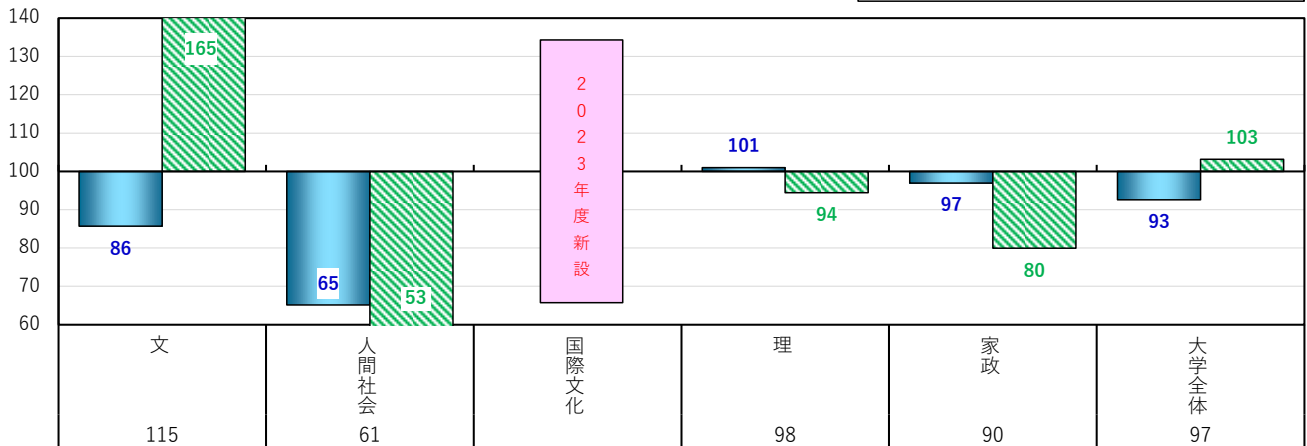


日本女子大：大学全体ではやや減少、文のみ大幅増加

一般：-465人 共テ：+119人

※前年度の志願者数を100とする指数  
※学部名の下の数値は学部全体の指数



## 主な入試変更点

学部新設：国際文化(国際文化) ※目白キャンパス

学科募集停止：人間社会(文化)

選抜方法：家政(住居)&lt;一般・英語外部試験利用&gt;…基準スコアにより5点または10点を加点

→基準スコアにより10点または20点を加点

入試科目：家政(児童)&lt;一般・個別3教科型&gt;…国+数+外→国+外+(数 or 理)

配点変更：理(数物情報科学)&lt;共テ・前期&gt;…数2&lt;200&gt;+外&lt;200&gt;+(国 or 理・理基2)&lt;100&gt;=総点&lt;500&gt;

→数2&lt;200&gt;+外&lt;100&gt;+(国 or 理・理基2)&lt;100&gt;=総点&lt;400&gt;

## COMMENT

※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、346人(97)のやや減少。旧人間社会(文化)を募集停止にして新設した国際文化は941人の志願者数で旧人間社会(文化)より281人(143)の大幅増加となったが、大学全体の志願者数は1万人に達しなかった。学部別では、文(115)は大幅増加だが、その他の3学部はいずれも減少で、特に旧人間社会(文化)を募集停止にした人間社会(61)は大幅減少、旧人間社会(文化)を除いても(74)の大幅減少。方式別では、一般方式は465人(93)のやや減少、共通テスト利用方式は119人(103)のやや増加で2年連続増加だが志願者数は4,000人には達しなかった。

## &lt;一般方式&gt;

- 文(86)**は、前年度増加の反動で減少。学科別では、3学科いずれも減少。(日本文)(83)、(英文)(84)は大幅減少、(史)(92)は減少で前年度の反動による増減が継続。
- 人間社会(65)**は、大幅減少で4年連続減少。募集停止の(文化)を除いた比較でも(80)の大幅減少。学科別では、(社会福祉)(113)は増加だがその他の3学科は減少。特に、(現代社会)(55)は2年連続増加の反動で大幅減少、志願者数は2017年度入試以来6年ぶりに500人を下回った。
- 新設の**国際文化**は、募集人員50人に対して志願者数は655人、志願倍率は13.1倍。募集停止となった旧人間社会(文化)との比較では(145)の大幅増加、募集人員は20%以上の減少なので、志願倍率は6.9倍→13.1倍にアップ。
- 理(101)**は、微増だが2年連続増加。学科別では、2022年度の学科名改称前を含めて見ると、(化学生命科学)(114)は前年度大幅増加に引き続き増加、(数物情報科学)(87)は前年度大幅増加の反動で減少。
- 家政(97)**は、やや減少。学科・専攻別では、7学科・専攻中3学科・専攻が増加で、(住居/居住環境デザイン)(134)は2年連続大幅増加。一方で、(住居/建築デザイン)(68)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(児童)(79)は入試科目が数必須から数または理の選択と負担減にもかかわらず大幅減少で7年連続減少。

## &lt;共通テスト利用方式&gt;

- 文(165)**は、激増で2年連続増加。学科別では、3学科全て大幅増加で(史)(207)は倍増、(英文)(153)、(日本文)(129)はいずれも2年連続大幅増加。
- 人間社会(53)**は、半減に近く4年連続減少。募集停止の(文化)を除いた比較でも(63)の大幅減少。志願者数は700人を下回った。学科別では、(心理)(95)はやや減少だがその他の3学科はいずれも大幅減少。(教育)(41)は前年度激増の反動、(社会福祉)(63)は2年連続大幅減少、(現代社会)(68)は3年連続大幅減少。
- 新設の**国際文化**は、募集人員8人に対して志願者数は286人、志願倍率は35.8倍。募集停止となった旧人間社会(文化)との比較では(137)の大幅増加、志願倍率は26.1倍→35.8倍にアップ。
- 理(94)**は、やや減少で前年度の反動による増減が継続。学科別では、2022年度の学科改称前を含めて見ると、(数物情報科学)(126)は前年度増加に引き続き大幅増加、(化学生命科学)(75)は大幅減少で前年度の反動による大幅な増減が継続。
- 家政(80)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科・専攻別では、(食物/管理栄養士)(114)、(食物/食物学)(111)は増加だがその他の5学科・専攻はいずれも減少。(児童)(68)は前年度激増の反動で大幅減少、(家政経済)(69)も大幅減少で志願者数は100人を下回った。(住居/居住環境デザイン)(71)、(住居/建築デザイン)(82)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(被服)(90)は減少。